

RYOBI

®

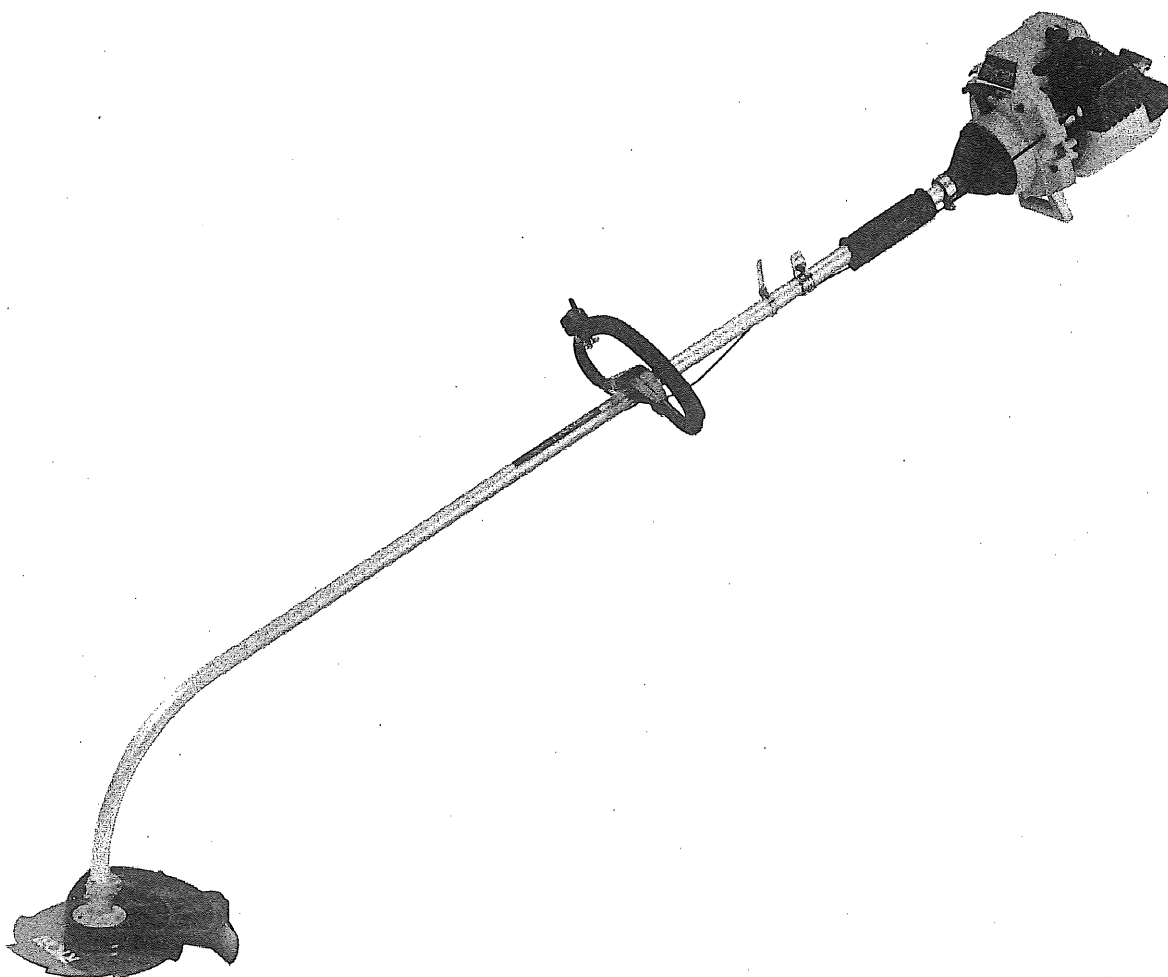
エンジン刈払機

REK-285BL

取扱説明書

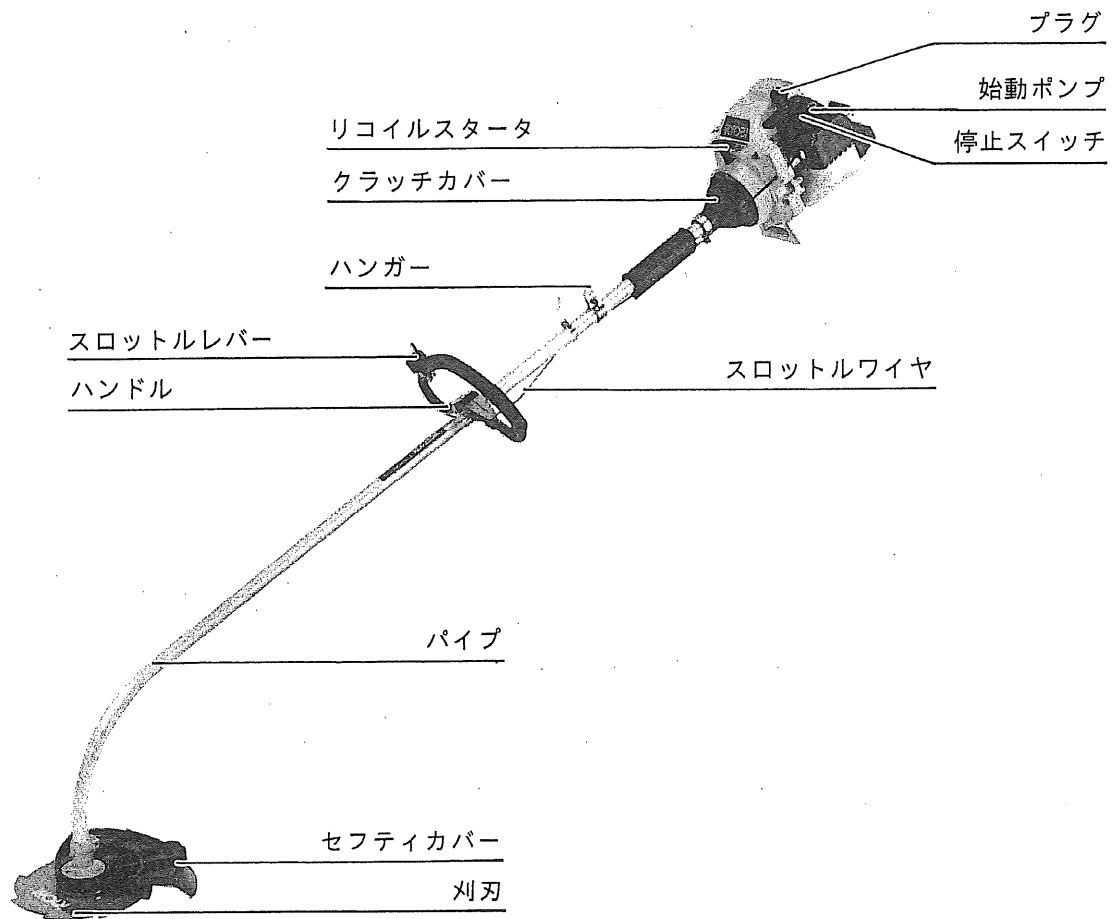
このたびは、リョービ刈払機をお求めいただきまして、
まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度
お読みください。



●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

各部のなまえ



●仕様

型式	REK-285BL		
寸法	長さ×幅×高さ	cm	167×25×28
重さ		kg	5.3
エンジン	型式		空冷2サイクル単シリンダ
	排気量	cc	28.5
エンジン	最高回転数	r.p.m.	8000
	キャブレタ		ダイヤフラム式
	マグネット		電子点火方式、フライホイールマグネット
	スパークプラグ		DJ8J
	始動・動力伝達		リコイルスタータ、自動遠心クラッチ
燃料	混合比		ガソリン20~25:2サイクル専用オイル1
	タンク容量	ℓ	0.6(連続約50分)
刈払装置	操作		ループハンドル固定式レバー
	刈刃		8枚刃(200×1.4×25.4mm)

●通常付属品

⊕ドライバー付ソケット
ショルダーバンド組立
バッグ
混合容器(700cc)

六角棒スパナ
コードストラップ
スパナ大
スパナ小

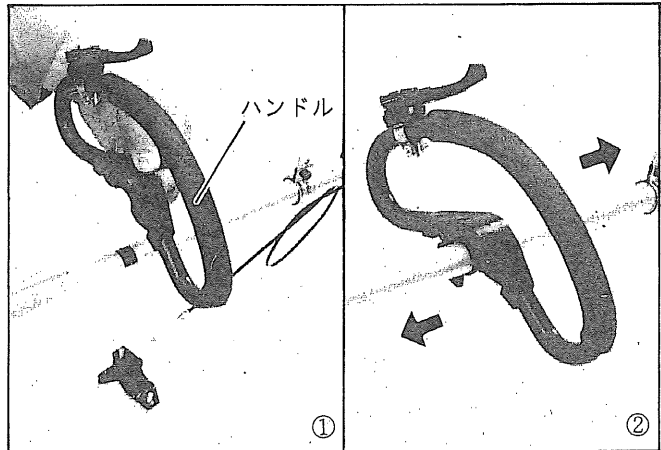
●特別付属品(別販売)

ナイロンオートカッター

使用準備

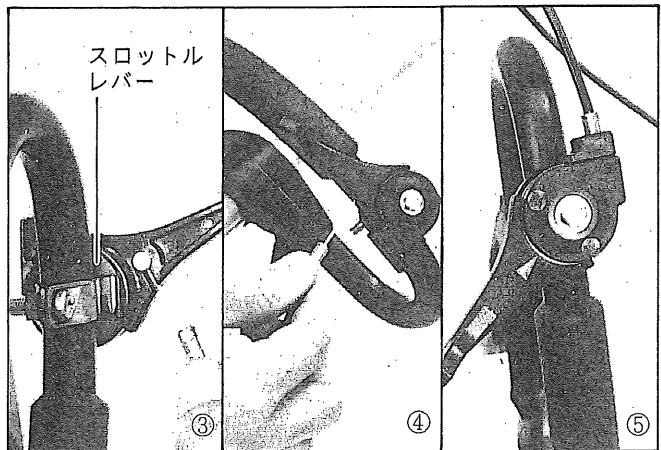
●ハンドルの取付け

- ・ハンドル取付位置の表示ラベルがかくれるようにハンドルを取付けて下さい。①
- ・ボルトと蝶ネジを用いて締めつけて下さい。
- ・ハンドル位置は作業のしやすい位置に合わせて下さい。②

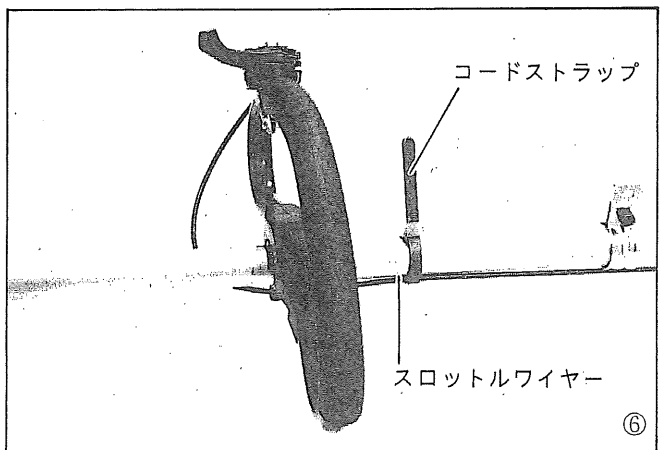


●スロットルワイヤーの取付け

- ・図のようにスロットルレバーにワイヤーの先端を引っかけてはめます。③④⑤

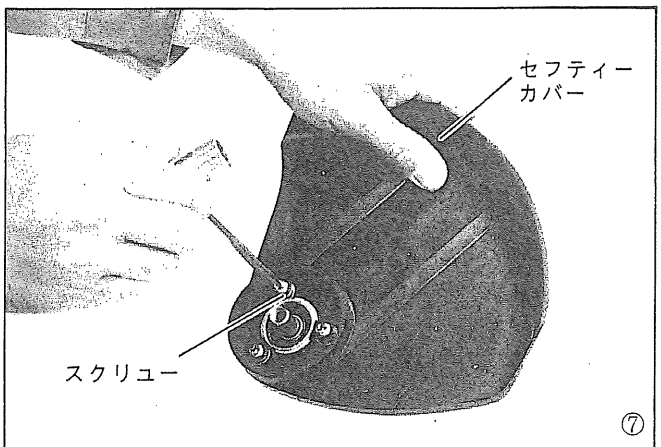


- ・付属のコードストラップでスロットルワイヤーをパイプに添わせて下さい。⑥



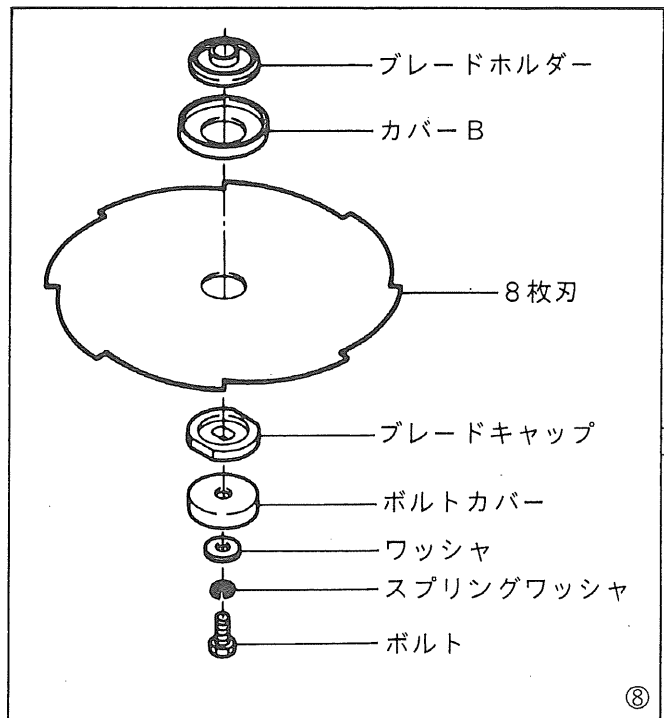
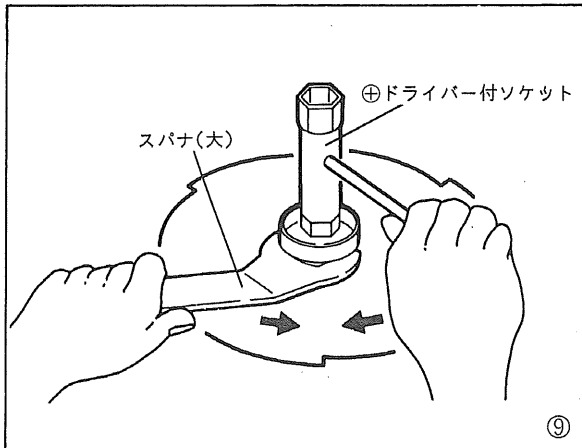
●セーフティカバーの取付け

- ・図のようにベアリングケースの穴とセーフティカバーの穴が合うように注意して、3本のスクリューを用いて締めつけて下さい。⑦



● 刈刃の取付け

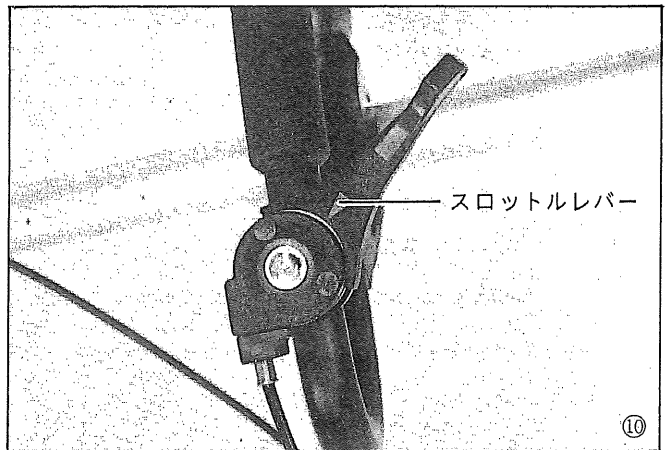
- ・ 刈刃の取付は右図のように取付して下さい。⑧
- ・ 刈刃の締付は、附属工具のスパナ大と⊕ドライバー付ソケットを使用して刈刃の押えボルトを締付けます。右ねじです。⑨
(締付は時計回りです)
(締付トルク1.5~2.0kgm)



運 転

● 始動

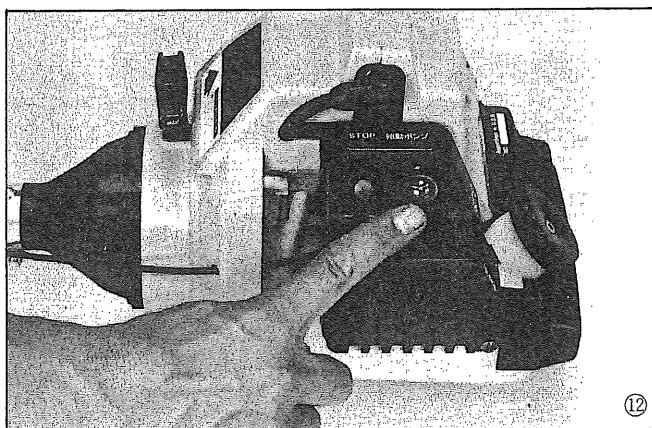
1. エンジンが手でさわられる位冷えている時。
 - ・ 燃料を燃料タンクに入れて下さい。
 - ・ スロットルレバーを1/2~1/3程度開いて下さい。⑩
- ◎ エンジンが暖まっている時 (停止後15分以内) は、チョークレバーや始動ポンプの操作は不要です。



- ※・チョークレバーを全閉の位置 (閉) にして下さい。⑪



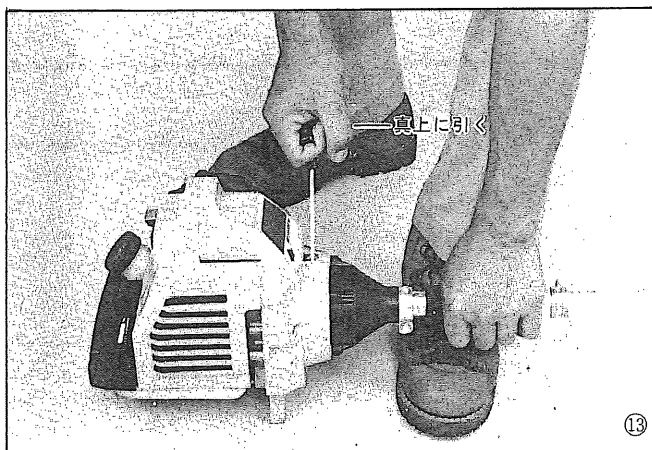
- ・始動ポンプを数回押して燃料を送ります。⑫



- ・リコイルスタータを最初の爆発音ができるまで引いて下さい。⑬ ブルンという爆発音がしエンジンがとまります。(素早く引く)

〈注意〉

- ・リコイルスタータのロープの長さを確認した後、全長の7～8割位で利用するよう心掛けて下さい。全部を引いてかけますと引きちぎる恐れがあります。

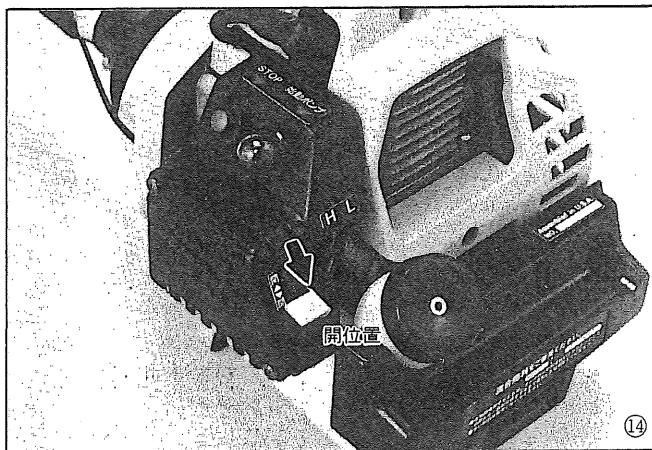


- ・チョークレバーを全開の位置にしてリコイルスタータを引いてエンジン始動して下さい。

⑬⑭

〈注意〉

- ・始動しない場合は※印の項に戻り操作を繰り返して下さい。
- ・始動後30秒くらいそのまま暖機運転して下さい。その後スロットルレバーを戻して下さい。



〈注意〉

- ・爆発音を聞き逃がしチョークレバーを全閉でリコイルスタータを何回も引いた時はチョークを全開にし、スロットルレバーをいっぱいに向けリコイルスタータを引いて下さい。
- ・その場合、爆発音を聞き逃がしてから、リコイルスタータを引いた回数あるいはその回数の2倍近く引かないと始動しません。
- ・上記のように燃料が吸い込み過ぎの状態になった時は回復が大変ですから御注意下さい。

〈注意〉

- ・エンジン始動のとき機械をしっかり押え、周囲の人などにも十分注意し、刈刃のそばの石や障害物もさけるようにします。
- ・エンジンが始動すると同時に刈刃が回り始めますので十分に気をつけて下さい。

●運転と停止

・運転

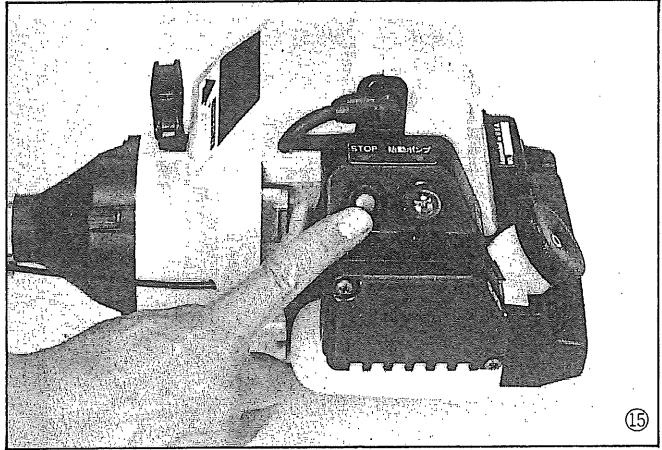
■低速運転の後スロットルレバーを徐々に開けエンジンの回転を上げてゆきます。

・停止

■スロットルレバーを戻し低速で冷却運転をしばらくつづけてから、停止スイッチをエンジンが完全にとまるまで押して下さい。⑮

(注意)

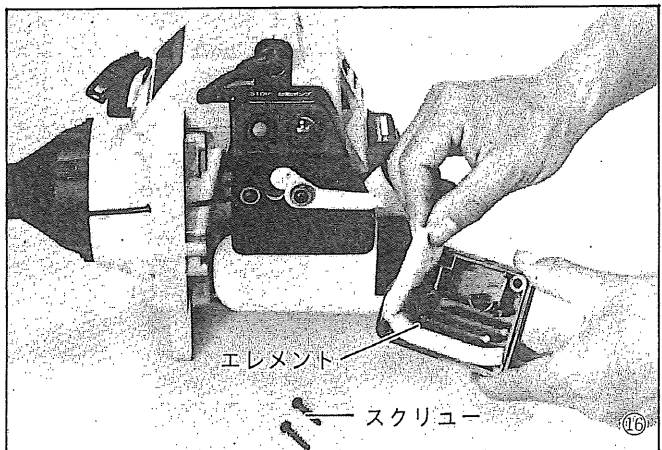
・エンジンの最高回転はおよそ8000回転/分となりますが、中速以上で空回転(刈払作業をしない状態)を続けると故障の原因になりますので、みだりに回転を上げないで下さい。



点検と整備

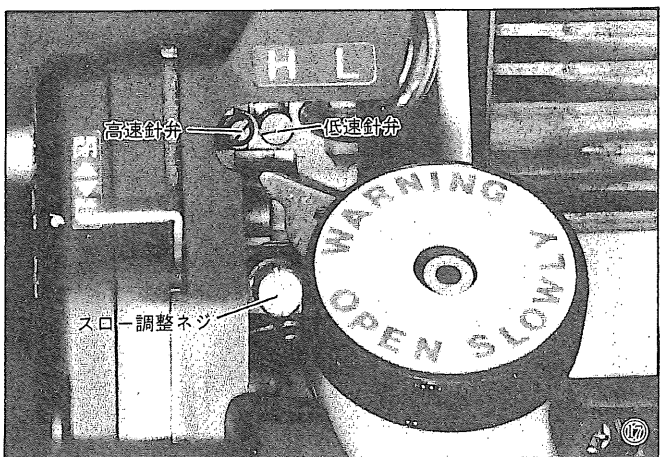
●エアークリーナー

- ・エアークリーナスクリュをはずし、エアクリナーを取りはずします。
- ・エレメントの汚れを点検します。軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗い、乾いてから使用します。⑯

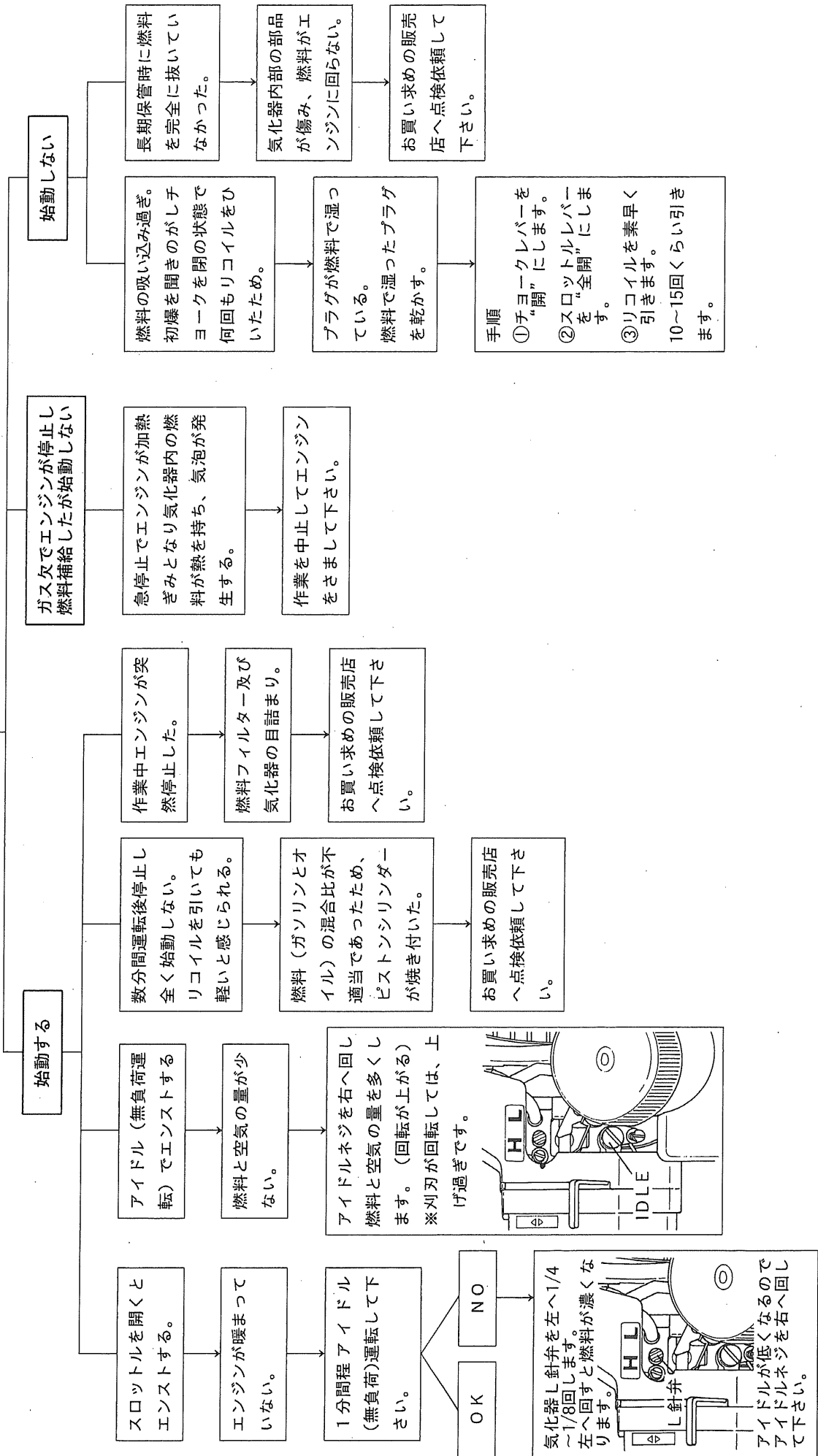


●気化器 (キャブレタ)

- ・出荷時には燃料が最適に供給されるように調整してありますから、不必要に燃料調整弁を動かさないで下さい。
- ・燃料調整針弁を静かに回して調整します。
(右に回すと閉じる方向です)
調整の標準は、調整針弁を全閉にしたところから戻し
低速針弁 (スローニードル): $1\frac{1}{8} \pm \frac{1}{4}$ 回転
高速針弁 (ハイスピードニードル): $1\frac{1}{8} \pm \frac{1}{4}$ 回転
としたところになっています。⑰
- ・アイドル調整ネジ
アイドル調整ネジを左右に回し、低速回転を調整します。⑱
刈刃が回っては回転数を上げすぎです。

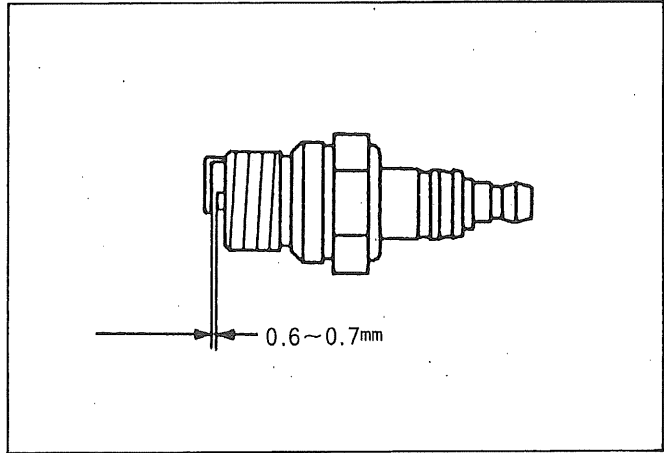


トラブル時のチェックリスト



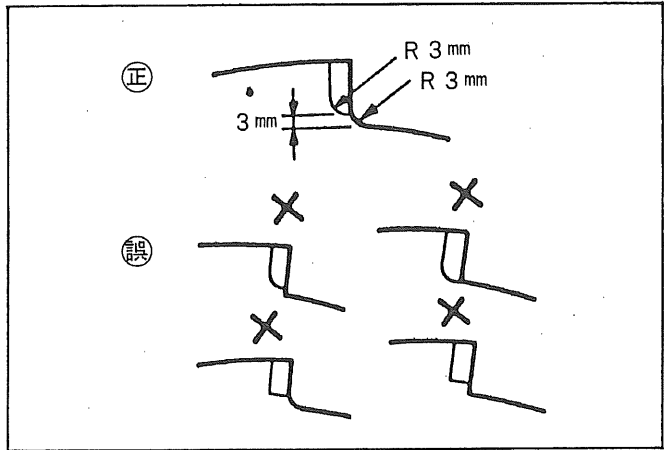
● スパークプラグ

- ・ スパークプラグの適正な電極間隔は0.6~0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。



● 8枚刃の研ぎ方

- ・ 刃の付根部には必ず「マルミ」を付けて下さい。「マルミ」を付けないと使用中刃の付根部から割れを生ずることがありますからよく注意して下さい。
 - ・ 刃付根部は刃の先端から約9mmとり、付根の「マルミ」の部分には刃を付けないで下さい。
 - ・ 各刃は均等に研いでバランスのよいものを使用します。
- 〈注意〉
- ・ グラインダを使用して研ぐときは急に水などに投げ入れて冷却してはいけません。欠け割れのある刈刃は新しいものに取替えて使用して下さい。



発売元



リョービ販売 株式会社



リョービ 株式会社